REQUIEM

271.6.1.

REQUIEM REQUIEM REQUIEM REQUIEM REQUIEM

武満 徹
弦楽のためのレクイエム

G.U. FAURE
レクイエム

W.A. MOZART
レクイエム

指揮 芥川也寸志
小林研一郎

独唱 常森寿子
佐野順子
菊池洋子
金谷良三
芳野靖夫
オルガン 佐藤登美子
合唱 合唱団 鯨
管弦楽 新交響楽団

1971年6月1日(火)7:00PM開演 渋谷公会堂

ほがらかに死んでいくために，わたしは生きようと思う。
ゲレルト〈寓話と物語〉

生きるということは，徐々に生れることである。
サン＝テクジュペリ〈戦う操縦士〉

それにしても，私の生涯は何という小説であろう。　ナポレオン一世

哲学者の全生涯は，死の準備である。　キケロ

魂と肉体を分つものは生命であって，けっして死ではない。
ヴァレリー〈ありのまま〉

現代の人間はだれでも生を愛している。なぜならば，現代人は苦痛と恐怖を愛しているから。　ドストエフスキー〈悪霊〉

人生は，ほんの一瞬のことにすぎない。死もまたほんの一瞬である。
シラー〈マリア・スチュアルト〉

われわれは死の心配によって生を乱し，生の心配によって死を乱している。
モンテーニュ〈随想録〉

個人の観点からすれば，死は生に対立する。だが，生きている者の全体から見れば，死は生の条件である。　ヴァレリー〈ありのまま〉

天才にとっては，生も死もおなじことである。　トルストイ〈生ける屍〉

出て来て，叫び声をあげる。これが生きていることじゃ。あくびして，出て行く。これが死ぬことじゃ。　オーゾーヌ・ド・シャンセル〈アルバムの献辞〉

私たちの一生は，死によって奏でられる荘厳な未知の調べのための，前奏曲の連続，それ以外の何であろうか？　ラマルチーヌ

ただ死んでいくために，この人生はわれらに与えられていたことを知れ。だが，死がわれらに与えるもの，それこそは真の生命なのだ。
ヴィーラント〈詩集〉

かの女は理由なく……死ぬために……生れたのです。そして理由なく死ぬのです。　メーテルリンク〈ペレアスとメリザンド〉

現世の幸福とは何か——影
現世の名声とは何か——夢
グリルパルツァー〈金羊皮〉

死は，孤独であるかもしれない。だが，生きているほど孤独であるはずがない。　アクセル・ムンテ〈サンミシェルの物語〉

われわれは牡蠣がその殻にしばりつけられているように，われわれの肉体にしばりつけられている。　プラトン

ひとは，その生命を不死のものにしようとして，一生をつかいはたしてしまう。　カンポアモール

人間が死を怖れるのは，かれがまだ十分に幸福であったためしがないからだ。このうえなく幸福な状態にあれば，かれはすぐにも死んでいきたがるだろう。　ファルンハーゲン・フォン・エンゼ〈日記〉

人間の本質は苦悩であり，おのれの宿命に対する意識である。その結果，ありとあらゆる恐怖，死の恐怖さえもがそこから生じるのである。
マルロー〈人間の条件〉

ああーあ，人間は何故死ぬのでしょう！生きたいわ！千年も万年も生きたいわ！　徳富蘆花〈不如帰〉

この世の富や権力が，ついに克つことのできぬ限界，それは死である。
ホラチウス

死の力は大きい。母親をその子どもからひきさらうことが出来るほどに。
ゲーテ〈ファウスト〉

死よ，偉大なる医者よ，おまえだけが，たえがたい悲しみの治療をしてくれる。　アイスキュロス〈断片〉

死はすべてのものを純粋にする。　ハイネ〈歌の本〉

死というものは，われわれのあらゆる秘密，あらゆるトリック，小細工からヴェールをひきむしるものである。　ドストエフスキー〈プロハルチン氏〉

死はわれわれにとって，可愛い子どもにたいする母親のごときものである。
ゴーリキー〈どん底〉

かれは死んだのではない。眠っているのでもない。人生という，束の間の眠りから目覚めたのである。　シェリー〈アドナイス〉

友人の死——それはあなたのなかの何ものかが死んだことである。
フロベール〈書簡集〉

人生は病気であり，世界は病院である。そして死が，われわれの医者なのだ。　ハイネ〈旅の絵姿〉

ほんとうに死をまぎらわす方法は一つしかない。それは自己を欺かないことである。　クロード・ロウ〈スタンダール論〉

ひとが死ぬのはいつも早すぎるか，遅すぎるよ。　サルトル〈出口なし〉

愛と死は神秘を秩序づけ，かならず神秘をこの世に残すもので，自然の二つの贈物なのです。　テスカ〈レモーヌ〉

愛は悩みであり，愛の喪失は死である。　エッシュンバッハ〈箴言集〉

愛の神秘は，死の神秘より大きなものだ。　ワイルド〈サロメ〉

愛！　じつにこれが人生のすべてだよ。
ドストエフスキー〈地下生活者の手記〉

芥川也寸志　編

プロフィール



指揮　芥川也寸志



指揮　小林研一郎

東京芸術大学作曲科卒業後，同学指揮科に入学し卒業。指揮を山田一雄，渡辺暁雄に師事。第2回民音指揮者コンクールで奨励賞受賞。日本指揮者協会所属。東京音楽大学指揮科講師。1969年群響定期でデビューし，明快な指揮はアマチュアオケや合唱団にても好評。

ソプラノ　常森寿子

東京芸術大学声楽科卒業，阿部幸次，浅野千鶴子，R・リッチに師事。東京混声合唱団所属。1968年イタリアに留学。第26回ジュネーブ国際音楽コンクールで金メダル賞（三位）入賞。豊かな合唱経験から譜読みの早さ，確実さ，レパートリーの広さで重要な存在である。



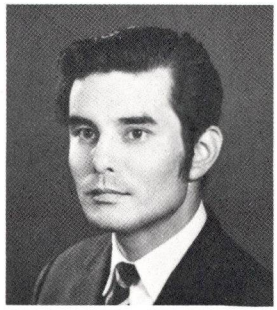
アルト　菊池洋子

東京芸術大学声楽科卒業。佐々木成子に師事。武蔵野音大講師。二期会会員。1956年芸大定期の「メサイヤ」でデビュー。1966年ウィーン，ザルツブルグに留学。グロスマン・ロイターに師事。1970年10月，イイノホールでリサイタルを開き好評を得た。



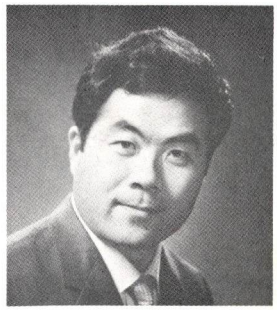
テノール　金谷良三

東京芸術大学声楽科卒業。薗田誠一，渡辺高之助に師事。第28回音楽コンクール入賞。東京混声合唱団創立以来の中心メンバーとして活躍している。スピントテナーの声質と演技は高く評価され，オペラ公演，宗教曲にと，広いレパートリーで活躍している。



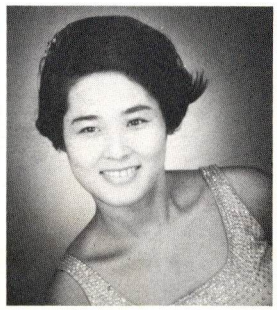
バス　芳野靖夫

広島大学音楽科卒業，東京芸術大学大学院修了。柴田睦陸，中山悌一に師事。二期会会員。1968年西独に留学。'69年11月プクィッツナー生誕100年記念リサイタルを開き注目された。深みのある柔らかい声でオラトリオ等の宗教音楽のソリストとして不可欠の存在である。



ソプラノ　佐野順子

武蔵野音楽大学声楽科卒業，同専攻科修了。松本紀久子，リア・フォン・ヘッサートに師事。二期会会員。東京文化会館推薦音楽会，ＮＨＫスタジオオペラ等に出演する一方，オペラでも大役を歌い，新人としては出色の好演と絶讃され，将来が大いに期待される。



死をめぐる人間の声

向坂正久

宗教音楽について，別段私は知識もなく，強い関心をもっているわけではない。「レクイエム」について，どなたか書く方を紹介してほしいとの連絡を受けた時も，このほうの専門家の名前を幾人かあげておいたのだが，どんな曲をやるのですかと聞くと「モーツァルトとフォーレ，それに武満さんの弦楽のためのレクイエムです」との答えである。思わず，「いい選曲ですね」というと電話の主は「ご自身でお書きになったら，どうですか」という。私はあまりの見事な選曲にひきずられて，「書きましょう」と答えてしまったのである。

モーツァルトとフォーレ，その二つのレクイエムはある意味で「動」と「静」の代表的な音楽であり，カトリックの世界に全く関わりのない人々にも，訴えかける宗教性をもっているものと思われる。モーツァルトはこのレクイエムを書く4年ほど前，それは「フィガロの結婚」と「ドン・ジョヴァンニ」の谷間の時期だが，父親の重態の報に，有名な手紙を書いている。要約すれば「死はわれわれの生活の最終目標で，死の影は恐ろしいものではなく，人間の真実の最良の友である」といった内容で，この手紙はモーツァルトの人生観を示したものとして，しばしば引用されるものになったが，私にはどうもこの表現は作りごとのように思えてならなかったのである。というのは，これほど達観している人がその臨終の床で，結局は未完となったレクイエムを，自分のために書いたといわれるのに何故あれほど激しく，死を拒んでいるのか。もし4年前の境地が持続していれば，表現方法は異なっても，もっと平安で清澄で，いってみればフォーレのレクイエムのようなものになっていなければおかしいのではないか。

この私の疑問を三年ほど前に篤実な学究者海老沢敏氏とある雑誌で対談した時に述べてみたら，彼はあの手紙には種本があって，必ずしもモーツァルトが到達した境地ではないと説明してくれた。その種本とは大作曲家メンデルスゾーンの祖父にあたるモーデス・メンデルスゾーンの「フェードン，あるいは魂の不死性について」という哲学書だそうだが，海老沢氏はそうした本を読んでいた事実に注目していたが，私はそうした本から引用して，死の近づきつつある父親を慰さめようとしている，モーツァルトの優しさのほうに興味をもつのである。つまり，もしモーツァルトがその父親の霊のために「レクイエム」を書いたとしたら，それは随分と異なったものになっていただろうということである。

いっぽうのフォーレの作品はまさに彼の長い生涯の半ばに，父の死に際して書かれたものである。初演の準備中に母の死も重なったという話だが，そこには両親の魂の平安を祈る気持がこめられているとみていいだろう。カトリックの死の概念について，私は詳らかでないけれども，世俗的な人間の立場でいえば死は永遠の安息というよりも，永遠の虚無への入口である。両親の死は，いわば死の客体化として描けるが，自らの死は客体化できぬ。そこにモーツァルトとフォーレの音楽の決定的な差があるといえよう。

武満徹のレクイエムは，いわば言葉をもたぬ鎮魂曲だが，そこには何か彼の身近な人間の死との関連があるのかもしれないし，もっと深く身分の生と死を考えて発想された世界かもしれない。とにかく作曲家に限らず人間というものは，死を考える時に永遠というものに結びつくのである。

ある雑誌の座談会で，武満徹は「ほんとうの音楽は規則から離れて，すべての生命の規律の中にスーッと入れるもの」と語っていたが，18世紀のモーツァルト，19世紀のフォーレ，20世紀の武満のそれぞれのレクイエムには，そうした音楽の最も根源的なものに触れ得た何かがある。それは生と死を身近に見つめた人間たちの声であるとでもいえようか。

*　　*　　*

レクイエムは〈死者のためのミサ〉ともいわれる。人は死して墓に眠る。最後の審判の日に主キリストが再臨し，生者はもちろん，墓からよびおこされた死者も裁判され，善き者は天国へ，悪しき者は地獄に追いやられ，この世の終末を迎える。

死者は自ら祈ることはできない。それ故，生者がミサをおこない，死者のためにその功徳の及ばんことを願う。これが〈レクイエム〉である。

レクイエムの名はこのミサの最初にうたわれる入祭誦がレクイエム・エテルナム（永遠の安息を……）で始まるからである。正しくはMISSA DEFUNCTORUM（はたらきをやめたもののためのミサ）といい鎮魂ミサ曲の訳は適切でない。レクイエムは毎年11月2日の万霊節にかならずおこない，人が死んだときや，死者の記念日にも随時おこなわれる。

レクイエムにおいては，普通のミサ通常文のうち，グロリアとクレドは使用されず，レクイエム固有文として入祭誦 Requiem（死者に安らかな眠りと恵みを乞う祈り），詠誦 Absolve Domine（死者の罪の許しを乞う祈り），続誦 Dies irae（怒りの日——最後の審判の日の恐ろしさを歌い，この日に恵みをくだすようにとの祈り），奉献誦 Domine Jesu Christe（死者が地獄に落ちないようにとの祈り），ミサに引き続いておこなわれる赦禱式にとなえられる応誦 Libera me Domine（神の怒りをまぬがれるための祈り），などが使用される。

これらにはグレゴリオ聖歌の旋律が配してあるが，式典を荘厳にするためにこれら全部の中から部分的に作曲することができる。特に大きなレクイエムにおいては続誦ディエス・イーレを幾段かに分け，第3節 Tuba mirum（霊妙なラッパがなりわたり），第9節 Recordare（我を記憶したまえ），第19節 Pie Jesu Domine（主なるイエズスよ，我らに安息を……）など，訴えかけの強い音楽に作曲してることが多い。

レクイエムは生前諸種の功労のあった人の記念日には極めて盛大におこなうことが多く，ベルリオーズ，ヴェルディなどの作がそれに値している。最近では故ケネディ大統領の死を悼み，ボストン交響楽団がエーリッヒ・ラインスドルフの指揮でモーツァルトのレクイエムを典礼形式でおこなっている。我が国においても，吉田元首相の霊を慰めるため，各放送局が終日レクイエムを流していたのは記憶に新しい。

フォーレ　（1845〜1924）

Gabriel-Urbain Fauré

〈フォーレを愛し，理解することは，いわば一種の特権を得ることであり，洗練された感受性と真正の詩精神の証明書とも思われる。フォーレの芸術性のもつあの無上の快感を体験した者は，もう二度とその味を忘れることはできぬ。そして本能的に，周囲の人々にもその恩恵を分配しようとする。フォーレの音楽のまわりには，自然に親愛な改宗勧誘熱がわきおこる。そうしてその伝授をうけた者の間には，道徳的な小さな連帯と知的な優しい交流が作り出されるのだ——〉エミール・ヴュイエルモ

フォーレの音楽のもつこうした「秘教的な陶酔感」は，最上の形で味わうことができるのだが，しかしその陶酔とよぶものは，後期ロマン派の音楽が強いるような，拡大され解体された感覚の麻痺とか人間感情の誇張ともまるで異なったものである。ロマン派音楽が大げさな効果や陶酔は，フォーレにはおよそ無縁のものだったのである。

フォーレの「レクイエム」は，あくまでもカトリックの典礼と精神にそいながら，しかも自己の美的信仰をあくまでも美しく歌いあげた，その独特の調和の中に真の生命が

ある。それは「禁欲的な感覚美」という矛盾したことばによってしか表現できないようなものであり，一見，二律背反とも思われるこの二つの相反する概念の結合の中に，その生命の秘密を理解する鍵があるように思われる。フォーレはここにレクイエムの形をかりて，彼の生得の真実のことば，即ちひそやかな抒情と洗練された感覚性によって，心からなる彼自身のための「祈り」をいのる。それは明らかに限りなく宗教的な音楽でありながら，単に教会的という概念を超えている。

1885年の父の死により，追悼と追憶のために，フォーレは86年から翌年にかけて作曲し，1888年，マドレーヌ教会で初演された。この曲は母の死においても，また彼自身が世を去った時にも，同じ場所で演奏されている。

モーツァルト　（1756〜1791）

Wolfgang Amadeus Mozart

モーツァルトの宗教音楽は，現代的認識からしても決して教会音楽の模範ではなく，彼の作品のうちでも，もっとも誤解されることが多い。しかしザルツブルク時代の伝統的手法による作品，ウィーンに定住後の独特な作品などは宗教音楽として立派なものであるばかりでなく，典礼音楽として全くすばらしいものが多いのである。

日本においても彼の「レクイエム」が他の作曲家のものよりも多く演奏されていることによって示されている。

モーツァルトの「レクイエム」は，それにまつわる伝説と，作曲が未完に終ったということでも有名である。

ただならぬ風采で，灰色の衣服をまとったシュトウツバッハ伯爵の家令を，衰弱しきったモーツァルトが死の使者と考えたとしても，さほど不思議はないのかもしれぬ。その家令は，1791年にモーツァルトのもとを訪問して，「レクイエム」の作曲を依頼している。

作曲に関しては，実際どこまでがモーツァルトの作であり，どこまでが弟子のヨゼフ・アイブラーとアントン・ジェスマイヤーの補筆したものか正確に知ることはできない。その意味でこのレクイエムは，ハ短調ミサ曲と異なりその様式においてでなく，演奏上の霊感による着想の水準が均質な曲とはいえない。また一部の人々が熱心に望んでいるようなモーツァルト最高の業績とするには値せぬかもしれない。

しかし心の奥深くまで印象づけるようなかけがえのない精神性を持った作品であることには相違ないのである。

武満　徹　（1930〜　）

〈私はこのレクイエムをメディテーションとしてもよかったのです。冥想ということばが神への排他的な専心を意味するように一物に専心したい気持がこの題を択んだのです……

この曲では，「拍」に対する観念が西欧のそれとは全く異っている。いうなれば“One by One”のリズムの上に曲は構成されている。始まりも終りも明確ではない。人間とこの世界を貫いている音の河の流れのある部分を偶然にとりだしたといったら，この作品の性格を端的にあかしたことになる——〉　と武満徹氏は語っている。

この作品は，1957年に東京交響楽団の依嘱によって作曲され，同年6月20日，同交響楽団の定期で上田仁の指揮により初演されている。

*　　*　　*



'70年12月23日　新響・鯨 第九特別演奏会

鯨とは……　合唱団鯨委員長　森　幸一

1967年12月にうぶ声をあげた鯨は，この三年間，新訳・舞台形式による三大オラトリオ上演に取り組み，それなりの成果を上げることができました。昨秋の「カルミナ・ブラーナ」においても好評を得ることができ，わが鯨も，ようやく幼年期から脱しようとしています。

私達は，自身の生活に根ざした，アマチュアならではの感銘度の高い音楽を生み，あらゆる人々にその素晴しさを訴え，喜こびを分ちあいたいと考えているのです。それの大きな足がかりとして，来年，演奏旅行を計画しています。

芥川氏に加え，今年より，小林研一郎氏を指揮者に迎えることができました。若々しく，情熱的な指揮・指導に，団員一同緊張し，新たな意欲に燃えています。

鯨のあゆみ

'68年 7 月 3 日	第 1 回定期演奏会
12月 8 日	ふぁみりい・こんさぁと
12月23日	新響・鯨 第九特別演奏会
12月26日	新響・鯨 第九特別演奏会
'69年 5 月28日	ハイドン：オラトリオ「四季」
7 月17日	コーラスとオーケストラの夕べ
12月21日	ヘンデル：オラトリオ「メサイヤ」
'70年 4 月 8 日	鯨はるにうたう
7 月 1 日	ハイドン：オラトリオ「天地創造」
11月25日	カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」
12月21日	新響・鯨 第九特別演奏会
12月23日	新響・鯨 第九特別演奏会

新響とは……　新交響楽団委員長　高下二郎

新交響楽団は，サラリーマン，オフィスレディ，学生，主婦など音楽を職業としない100余名の団員から成り，また，芥川也寸志氏を音楽監督常任指揮者とするアマチュアのオーケストラです。42年秋のソ連旅行，44年秋の沖縄九州旅行という華やかな活動がある反面，実質的には拘束力もなく，他からの援助もない団体なので，極端にいえば常に解体の危機に瀕しています。このようなオーケストラを支えるものは全団員の胸にある「音楽を愛する心」といえましょう。

アンサンブルを創り，音楽を楽しむということの他に新響には演奏団体としての活動があり，そのために年2回の定期演奏会，サマーコンサート，年末の特別演奏会，依頼演奏会などを積極的に行なっています。

新響・最近の活動

'69年 8 月 4 日	サマーコンサート
10月下旬〜11月上旬	九州・沖縄演奏旅行
12月21日	ヘンデル：オラトリオ「メサイヤ」
'70年 4 月13日	第19回定期演奏会
7 月 1 日	ハイドン：オラトリオ「天地創造」
8 月20日	サマーコンサート
11月 4 日	第20回定期演奏会
12月21日	新響・鯨 第九特別演奏会
12月23日	新響・鯨 第九特別演奏会
'71年 1 月15日	足立区成人式祝典演奏会
4 月18日	第21回定期演奏会
4 月22日	第21回定期演奏会

REQUIEM 対訳

INTROITUS
MOZART 1
FAURE 1

Requiem aeternam

Requiem aeternam dona eis Domine: et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus Deus in Sion, et tibi reddetur Votum in Jerusalem: exaudi orationem meam, ad te omnis caro veniet.
Requiem aeternam dona eis, Domine: et lux perpetua luceat eis.

KYRIE
MOZART 2
FAURE 2

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

SEQUENTIA
MOZART 3

Dies irae

Dies irae, dies illa, solvet saeclum in favilla: teste David cum Sibylla.
Quantus tremor est futurus, quando judex est venturus, cuncta stricte discussurus!

Tuba mirum

Tuba mirum spargens sonum, per sepulcra regionum, coget omnes ante thronum.
Morus stupebit et natura, cum resurget creatura, judicanti responsura.
Liber scriptus proferetur, in quo totum continetur, unde mundus judicetur.
Judex ergo cum sedebit, quid-quid latet apparebit: nil inultum remanebit.
Quid sum miser tunc dicturus? Quem patronum rogaturus? Cum vix justus sit securus.

Rex tremendae

Rex tremendae majestatis, qui salvandos salvas gratis, salva me, fons pietatis.

Recordare

Recordare Jesu pie, quod sum causa tuae viae; ne me perdas illa die.
Quaerens me, sedisti lassus: redemisti crucem passus: tantus labor non sit cassus.
Juste judex ultionis, donum fac remissionis; ante diem rationis.
Ingemisco tamquam reus, culpa rubet vultus meus: supplicanti parce Deus.

入祭誦
モーツァルト 1
フォーレ 1

永遠の安息を

主よ，永遠の安息をかれらに与え，たえざる光をかれらの上に照らしたまえ。
神よ，主の賛美をふさわしくうたいうるのはシオン（において）である。エルサレムでは，主にいけにえをささげたてまつる。すべての肉体の向うべき主よ，われらの祈りをききたまえ。
主よ，永遠の安息をかれらに与え，たえざる光をかれらの上に照らしたまえ。

あわれみの讃歌
モーツァルト 2
フォーレ 2

主よ，あわれみたまえ。
キリストよ，あわれみたまえ。
主よ，あわれみたまえ。

続誦
モーツァルト 3

怒りの日

ダヴィドとシビッラとの予言のとおり，この世が灰に帰すべきその日こそ怒りの日である。
審判者が，すべてをおごそかにただすために来たもうとき，人びとの恐怖はいかばかりであろうか。

不思議なラッパの音

この世の墓の上に不思議なひびきを伝えるラッパが，全人類を王座の前に集めるであろう。
人間が審判者にこたえるためによみがえるとき，死と自然界とはおどろくであろう。
そのとき，この世をさばくすべてのことの書き記されている書物がもち出されるであろう。
審判者がさばきの座につくとき，かくされたことはことごとく知られ，あらゆることがさばかれるであろう。
そのとき，あわれなわたしは，何をいおうか。どんな弁護者にたのもうか。義人さえも不安をもつであろうに。

御稜威(みいつ)の大王

おそるべき御稜威の大王よ，救われるものをおん恵みでもって救いたもうあわれみの泉よ，わたしをも救いたまえ。

慈悲深きイエズス

慈悲深きイエズスよ，おん身が地上にくだりたもうたのは，わたしのためでもあった(ことに思いをいたし)，その日わたしをほろぼしたもうな。
わたしをさがし求め，十字架の刑でもってわたしをあがないたもうたおん方よ，その労苦をむなしくしたもうな。
正義によって罰したもう審判者よ，報告すべき日より先にわたしにゆるしの恩寵をくだしたまえ。
わたしは，とがある者として嘆く。罪を恥じて顔を赤らめる。神よ，こいねがうわたしをゆるしたまえ。

Quid Mariam absolvisti, et latronem exaudisti, mihi quoque spem dedisti.
Preces meae non sunt dignae; sed tu bonus fac benigne, ne perenni cremer igne.
Inter oves locum praesta, et ab haedis me sequestra, statuens in parte dextra.

Confutatis

Confutatis maledictis, flammis acribus addictis, voca me cum benedictis.
Oro supplex et acclinis, cor contritum quasi cinis, Gere curam mei finis.

Lacrimosa

Lacrimosa dies illa, qua resurget ex favilla judicandus homo reus; huic ergo parce Deus.
Pie Jesu Domine, dona eis requiem.
Amen.

OFFETORIUM
MOZART 4
FAURE 3

Domine Jesu

Domine Jesu Christe, Rex gloriae, libera animas omnium fidelium defunctorum de poenis inferni et de profundo lacu:
libera eas de ore leonis, ne absorbeat eas tartarus, ne cadant in obscurum:
sed signifer sanctus Michael repraesentet eas in lucem sanctam:
quam olim Abrahae promisisti, et semini ejus.

Hostias

Hostias et preces tibi Domine laudis offerimus: tu suscipe pro animabus, illis, quarum hodie memoriam facimus:
fac eas, Domine, de morte transire ad vitam.
Quam olim Abrahae promisisti, et semini ejus.

SANCTUS
MOZART 5
FAURE 4

Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt caeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

Benedictus MOZART 6

Benedictus qui venit in nomine Domini.
Hosanna in excelsis.

〔マグダラの〕マリアをゆるし，善い盗賊の願いをききたもうたおん方は，わたしにも希望を与えたもうた。
わたしの祈りはききいれられる価値のないものではあるが，慈悲深きおん方よ，あわれみをもってわたしを永遠の火に追いやりたもうな。
ひつじの中にわたしを置き，牡やぎから引きはなし，おん右に置きたまえ。

判決を受けてのろわれた者は
のろわれた者どもを罰し，はげしい火の中に落としたもうたとき，わたしを選ばれた者のひとりとして招きたまえ。
灰のようにくだかれた心をもって，ひれ伏して願いたてまつる，わたしの終りの時をはからいたまえ。

涙の日よ
罪ある人がさばかれるために，灰からよみがえるその日こそ涙の日である。
ねがわくは，神よ，かれらをあわれみたまえ。
主よ，やさしいイエズスよ，かれらすべてに安息を与えたまえ。
アーメン。

奉献誦

モーツァルト 4
フォーレ 3

主イエズスよ
光栄の王，主イエズス・キリストよ，死んだ信者すべての霊魂を地獄の罰と底なき深淵とから救い出し，
獅子の口から解き放ちたまえ。
かれらを冥府におとさず，闇に投げたもうな。
旗手聖ミカエルがかれらを清い光明にみちびかんことを。
主がそのむかしアブラハムとその子孫とに約束したもうたその光に。

称讃のいけにえ
主よ，称讃のいけにえと祈りとをわれらは主にささげたてまつる。
本日記念する霊魂のためにこれをうけいれたまえ。
主よ，かれらを死から生命へと移したまえ。
主がそのむかしアブラハムとその子孫とに約束したもうたその生命へ。

感謝の賛歌

聖なるかな
モーツァルト 5
フォーレ 4

聖なるかな，聖なるかな，聖なるかな，万軍の神なる主。
主の栄光は天地にみつ。
天のいと高きところにホザンナ。

祝せられますように
モーツァルト 6

ほむべきかな，主の名により来たる者。
天のいと高きところにホザンナ。

PIE JESU

FAURE 5

Pie Jesu, Domine, dona eis requiem, dona eis requiem sempiternam.

AGNUS DEI

MOZART 7
FAURE 6

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: dona eis requiem.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: dona eis requiem sempiternam.

COMMUNIO

MOZART 8
FAURE 7

Lux aeterna
Lux aeterna luceat eis, Domine: cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es.
Requiem aeternam dona eis Domine, et lux perpetua luceat eis.
Cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es.

LIBERA ME

FAURE 8

Libera me, Domine, de morte aeterna in die illa tremenda:
quando caeli movendi sunt et terra:
dum veneris judicare saeculum per ignem.
Tremens factus sum ego, et timeo, dum discussio venerit, atque ventura ira.
Dies illa, dies irae, calamitatis et miseriae, dies magna, et amara valde.
Requiem aeternam dona eis Domine: et lux perpetua luceat eis.
Libera me, Domine.

IN PARADISUM

FAURE 9

In paradisum deducant te Angeli:
in tuo adventu suscipiant te martyres, et perducant te in civitatem sanctam Jerusalem.
Chorus Angelorum te suscipiat, et cum Lazaro quondam paupere aeternam habeas requiem.

ああ，イエズスよ

フォーレ 5

めぐみふかき主イエズスよ，永遠の安息をかれらに与えたまえ。

平和の讃歌

モーツァルト 7
フォーレ 6

神の小羊，世の罪を除きたもう主よ，かれらにやすらぎを与えたまえ。
神の小羊，世の罪を除きたもう主よ，かれらにやすらぎを与えたまえ，永遠のやすらぎを。

聖体拝領誦

モーツァルト 8
フォーレ 7

永遠の光を
主よ，永遠の光明をかれらの上にかがやかせたまえ，とこしえに主の聖人らとともに，慈悲深き主よ。
主よ，永遠の安息をかれらに与え，たえざる光をかれらの上に照らしたまえ。
とこしえに主の聖人らとともに，慈悲ぶかき主よ。

赦祷文

フォーレ 8

主よ，かの恐ろしい日に，わたしを永遠の死から解放したまえ。
天地がふるいうごくその日。
主がこの世を火をもって審くために来たもうとき。
わたしは，きたるべき審きと怒りとを思って，ふるえおののく。
その日こそ怒りの日，わざわいの日，なやみの日，大いなる悲嘆の日。
主よ，永遠の安息をかれらに与え，たえざる光をかれらの上に照らしたまえ。
主よ，わたしを解放したまえ。

楽園歌

フォーレ 9

天使らがあなたを天国に連れていくように。
あなたがそこに着くとき，殉教者たちが出迎えて，エルサレムの聖なる都にみちびくように。
天使のむれがあなたを出迎え，かつて貧しかったラザロの入ったその永遠の安息にみちびきたまわんことを。

《モーツァルト，フォーレの後に書いてある番号は，演奏順序を示します》

合唱団 鯨

〈団員募集〉

指揮　芥川也寸志

定期練習 ＝ 毎週火曜日　PM6:30～9:00

練 習 場 ＝ カワイ楽器・ミュージックサロン
（渋谷北口）　7F or 3Fにて

どなたでもお入りになれます。一度いらして下さい。

〈次回予告〉

'71. 10. 19(火)　Family concert

'71. 12.　　メサイヤ，第九

〈登録会員募集中〉

▷入会金はいりません。

▷演奏会の案内を毎回お送りしますので御希望の時だけお申し出下さい。

▷入場券は1割引といたします。

▷プログラムを無料でさし上げます。

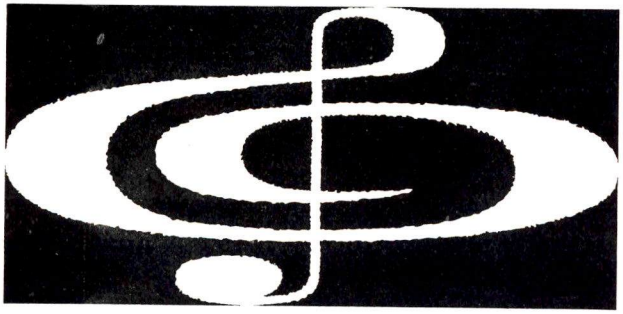
申込は，住所(TEL)，氏名，年令，職業，明記の上，下記まで……

〒160 新宿区須賀町14大湊ビル
TEL (357) 5255(但し，月・水・木のみ)

■ プログラム編集　　責任者：川畑洋一

川畑洋一・泉田早百合・遠藤越子・西野博和・橋本幸子・平野孝子・御子柴優子・村上保男

より豊かに　より楽しく ——



モービル石油は、急増するわが国のエネルギー需要にこたえ、すべての人びとが豊かなくらしを楽しむ輝かしい未来に、挑戦いたします。

Mobil
モービル石油



コーラはペプシ

PEPSI

生きてる生きてるふれあうペプシ



こころを表現しよう

新発売のヤマハエレクトーンは、人のこころを音楽に変えるのに最適の楽器です。ビギナー用から専門家用まで多彩、たくさんの人のこころを捉えています。

C－4 ═══ ¥320,000

YAMAHA

日本楽器製造株式会社